

東リ株式会社



2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年7月30日



2026年3月期 第1四半期 決算概要

2026年3月期 第1四半期 連結決算概要

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

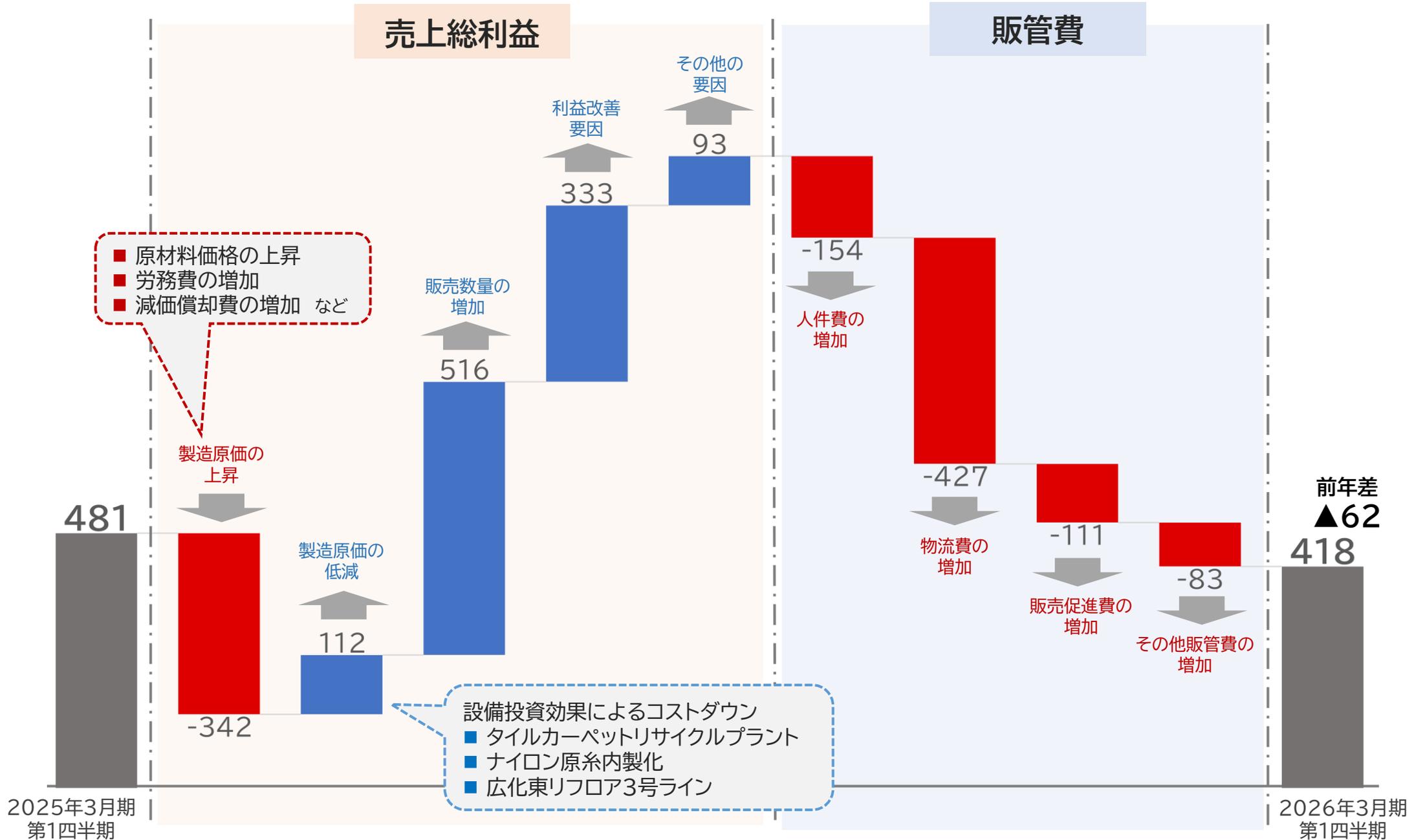
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期		
	実績	実績	前期比(%)	前期差
売上高	22,672	25,056	+ 10.5	+ 2,384
売上総利益 (売上高比率)	6,679 (29.5%)	7,391 (29.5%)	+ 10.7	+ 711
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	6,198 (27.3%)	6,972 (27.8%)	+ 12.5	+ 774
営業利益 (売上高比率)	481 (2.1%)	418 (1.7%)	▲ 13.0	▲ 62
経常利益 (売上高比率)	657 (2.9%)	642 (2.6%)	▲ 2.2	▲ 14
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高比率)	399 (1.8%)	379 (1.5%)	▲ 4.9	▲ 19

Point

- 販売数量の増加、並びに一部製品の価格改定効果により、売上高は伸長。
- 原材料価格や減価償却費の上昇に対して、製造原価低減に注力し、売上総利益率は前年並みを維持。
- 物流コストの上昇に加え、人的資本投資などの費用が増加したことにより、利益は前年を下回る。

連結営業利益 増減要因

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)



連結貸借対照表

資産

(単位: 億円 ※単位未満切り捨て)

流動資産 527	▲10	流動資産 517
固定資産 413	+6	固定資産 419
2025年3月末		2025年6月末

Point

<流動資産>

- 受取手形及び売掛金の減少 ▲40
- 在庫の増加 +15 等

<固定資産>

- 有形固定資産の増加 +6 等

負債／純資産

(単位: 億円 ※単位未満切り捨て)

負債 456	+2	負債 459
純資産 483	▲6	純資産 477
2025年3月末		2025年6月末

Point

<負債>

- 支払手形及び買掛金の減少 ▲13
- 借入金の増加 +10 等

<純資産>

- 利益剰余金の減少 ▲5 等

2026年3月期 第1四半期 事業セグメント別決算概要のポイント

インテリア事業

売上高

23,870百万円
前年比(+10.4%)

セグメント
利益

446百万円
前年比(▲12.8%)

- 「オルガテック東京2025」への出展などを通じて、高付加価値製品の販促活動に注力。
- ビニル系床材と壁装材を中心に販売数量が増加し、売上高が大幅に伸長。
- 「えらべるって、楽しい!」をコンセプトにした東リカーテン「fuful(フフル)」を6月発売。
- 成長投資に伴う減価償却費や物流コスト・人件費などが増加したことにより、セグメント利益は前年を下回る。

グローバル事業

売上高

541百万円
前年比(+22.3%)

セグメント
損失

▲54百万円
前年同期
(セグメント損失▲47百万円)

- 中国市場での販売が伸び悩んだものの、北米やASEANを中心に販売が順調に推移。
- 2024年7月に営業開始した「TOLI North America」の業績が寄与するなど、利益率は改善傾向。
- 一方で、物流コストの上昇が利益減少要因となった。

建材その他事業

売上高

1,200百万円
前年比(+7.3%)

セグメント
利益

26百万円
前年比(+67.9%)

- 業際分野及び産業資材向け東リブランド製品の製造販売では、浴室・浴場向けビニル床シート「バスナシリーズ」等が好調に推移。
- 建材及び住設機器等の仕入れ販売では、新設住宅市場が弱含みで推移する中、売上高は前年を上回る。

※セグメント間の取引を含めて表示



2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

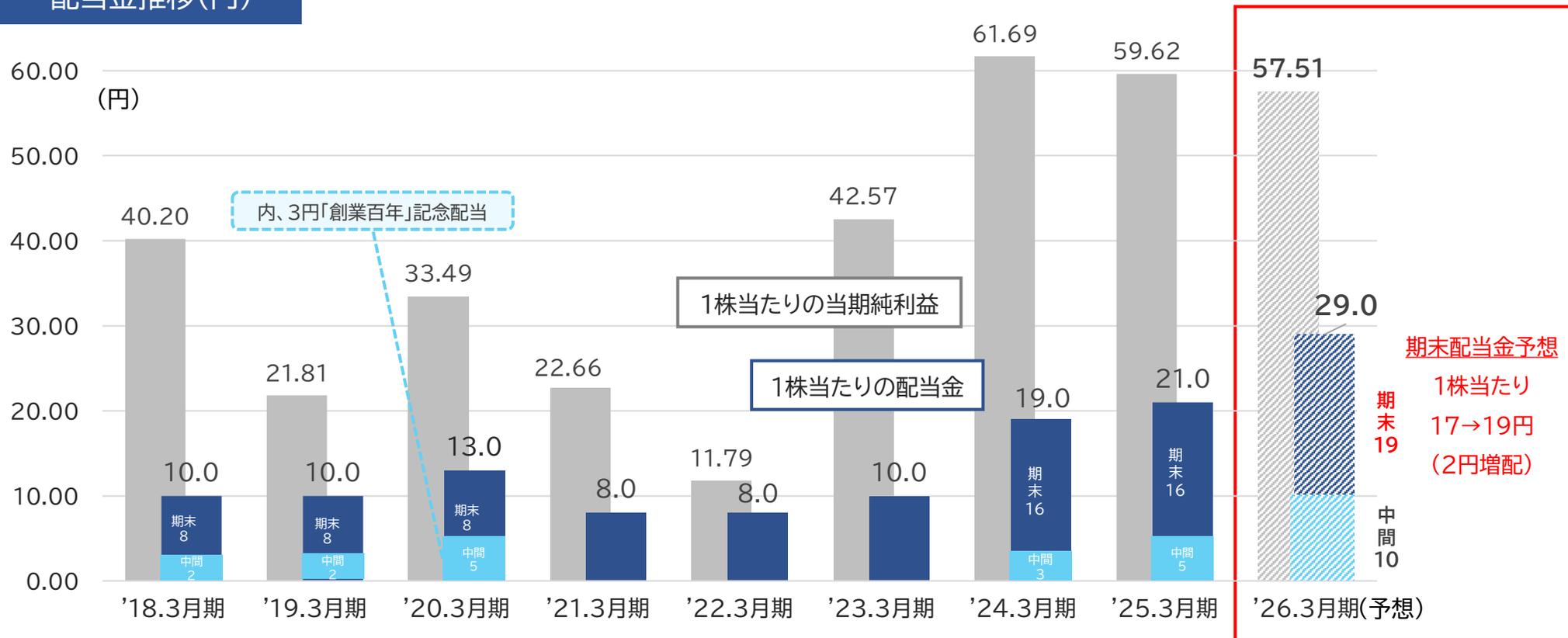
	2026年3月期							
	上期(4-9月)				通期			
	業績予想値 (5/8発表)	修正予想値 (7/30発表)	増減額	増減率	業績予想値 (5/8発表)	修正予想値 (7/30発表)	増減額	増減率
売上高	49,500	50,500	1,000	2.0%	108,000	109,000	1,000	0.9%
営業利益	400	800	400	100.0%	4,000	4,400	400	10.0%
経常利益	500	950	450	90.0%	4,200	4,650	450	10.7%
親会社株主に帰属する 中間/当期純利益	300	550	250	83.3%	3,100	3,350	250	8.1%

Point

- 第1四半期にビニル系床材や壁装材の販売数量が好調に推移したことに加え、製造原価低減や一部製品の販売価格改定効果などが進展していることを踏まえ、当第2四半期(中間期)の業績予想数値を上方修正。
- 下期以降の予想数値については、米国の通商政策の動向や地政学リスクなど、依然として先行き不透明な経営環境が続くことを踏まえ、据え置きとした上で、通期の業績予想数値を修正。

配当予想の修正について

配当金推移(円)



- 2026年3月期をスタートとする中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中の株主配当については、連結配当性向50%、又はDOE3.5%を目安に安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当金は19円を下限とする方針。
- 上記基本方針及び7月30日発表の業績予想修正等を踏まえ、**2026年3月期の期末配当金を2円増配となる1株当たり19円に修正。**なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金10円(予想)を合わせた、1株当たり29円を予定。

将来見通し等に関する注意事項



IRに関する
お問い合わせ先

東リ株式会社
経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。